

Library Information

図書室からのお知らせ

■本の入荷について

図書室では、新刊本や話題の本など、新しい本を入荷しています。

本のリクエストについても、図書室カウンターにて受け付けています。皆さんの読みたい本や気になる本などがありましたら、お知らせください。

また、お探しの本などがありましたら、お気軽にカウンターにご相談ください。

● 図書室の利用や、図書の検索・リクエストなどについてのお問い合わせ先
町生涯学習センター図書室
TEL 096-234-2447(内線331)
✉ klg110@town.kosa.lg.jp

推理作家を奇怪な館の事件へと誘う 綾辻 行人著 / 『奇面館の殺人』



講談社
小説

奇面館主人、影山逸史に招かれた6人の男たち。館に伝わる奇妙な面度全員が顔を隠すなか、妖しく揺らめく「もう一人の自分」の影…。季節はずれの吹雪で館が孤立したとき、「奇面の間」に転がった悲惨な死体は何を語るのか。前代未聞の異様な状況下、名探偵、鹿谷門実が圧巻の推理を展開する。「館」シリーズ、待望の最新刊。

アイデアレシピのカリスマの登場 浜内 千波著 / 『1時間で1週間分「楽うま」作おきおかず』



PHP 研究所
娯楽教養

時間を掛けて毎日夕食を作るのは、忙しい人にはちょっと難しい。そこで、休日1時間だけの料理で、平日5日分の作り置きおかずを作ってしまうレシピを考案。平日はちょっとアレンジするだけで、わずかな時間で主菜、副菜まで作ることができます。レシピは、おつまみまで含めて170品。保存のこつや、アレンジして種類を広げる工夫も。

時代を映す第1級の証拠の数々 H.ピュエル著 / 『ピュリツァー賞受賞写真全記録』



日経NG社
一般書

米国で最も権威ある賞のひとつ、ピュリツァー賞。70年間に受賞作が伝えたのは、ベトナムやイラク、アフガニスタンでの戦争、大災害など。写真家が全身全霊をかけて切り取った1枚に、時代のすべてが映し出されている。また、賞の背景や変遷、撮影データ、作品や事件についての説明、撮影者についても解説があり、読み応え十分の1冊。

ユーモアあふれるおなががすく絵本 長谷川 義史絵 / 『おなかのなかの、なかのなか』



学研教育出版
児童書

くいしんぼのねずみのチッチ。今日もあさごはんのあと森でいちごを見つけて、およろこび。でも森には、チッチをねらうネコのすがたが。ぱくりぱくりとのみこまれていく動物たち。そのおなかのなかでは、ぐるぐるごちそうもまわっていきます。いちばんのくいしんぼはだあれ。ユニークで面白く、読み聞かせにもお勧めの楽しい1冊です。

町生涯学習センター図書室のご利用について

■ 開館時間 午前9時～午後5時 ■ 休館日 毎週火曜日、年末年始 ■ 貸出冊数・期間 1人3冊まで、8日間

私 が紹介する本は、学生運動の時代を背景にした、主人公「ワタナベ」と友人の恋人である「直子」を軸とした、様々な青春の葛藤（かつとう）や人間模様、恋愛、喪失感などを描いた長編小説です。

初めは主人公が通う大学や、学生寮の同居人で生真面目で清潔好きの通称「突撃隊」、学生寮の先輩で主人公と親しい「永沢さん」、同じ授業を受講する学友の「緑さん」、そして友人の恋人である「直子」が話を描き、後半は直子の住む寮の同室人で、かつてはピアニストを目指していた「レイコさん」が加わり、

今月の案内人



今泉 毅士さん
〔甲佐高3年〕

～ My Favorite Story ～ 私のおすすめ図書

『ノルウェイの森』(村上 春樹著)

限りない喪失と再生を描く究極の恋愛小説。ビートルズの「ノルウェイの森」が流れ出し、僕は1969年、20歳になる秋の出来事を思い出し、激しく混乱し、動揺していた。

物語は佳境へと進んでいきます。

私がこの本を良いと思った理由は、鮮明に書かれた表現力です。読んでもらおうとわかると思いますが、主人公の登場人物に対する気持ちや思い、そして主人公の行動や周囲の情景表現まで忠実に書かれており、わかりやすくおもしろかったです。もし、この本を読んでおもしろいと思われた方は映画を見てみると、また違ったおもしろさがわかると思います。

また、この作品を読んで村上春樹の作品を他にも読んでみたいと思わ

れた方は、『羊をめぐる冒険』などを読まれてみると、違った視点を知ることができると思います。

● あなたの「おすすめ図書」をご紹介してみませんか？
町生涯学習センター図書室

TEL 096-234-2447(内線331)

✉ klg110@town.kosa.lg.jp

Public Hall

町公民館からのお知らせと話題

▶町公民館からのご案内

平成23年度町民大学閉講式

- 開催日 3月27日(火)
 - 会場 町生涯学習センター・ホール
 - 日程
 - ・開講式 午前10時
 - ・講演 午前10時20分
 - 講演内容
 - ・演題 「食と健康」
 - ・講師 村上光太郎教授(崇城大学薬学部教授)
- ※身近な薬草の効能や、使い方などについてご紹介いただきます。先生に尋ねたい薬草などありましたら、ぜひ、お持ちください。

- 公民館講座や町民大学などに関するお申し込み・お問い合わせ先 町教育委員会公民館事務局
- ☎096-234-2447(内線321)
✉k1g110@town.kosa.lg.jp

▶主催講座「こども講座」 デコ・スイーツを作ろう

2月のこども講座は、2月11日(土)町農業研修センター「ろくじ館」で、市販のチョコレイトなどを使って、かわいいスイーツを作る教室を開催しました。3歳から中学生まで20人が参加しました。



▲デコレーションしたスイーツ作りに挑戦する子どもたち

初めに、パイ生地をチョコレイトで包んだお菓子を土台にして、ホワイトやピンクのチョコレイトやイチゴなどで

▶公民館出前講座

老年期うつ病の予防法

2月16日(木)南三箇公民館で、出前講座「老年期うつ病」を開講しました。

町保健福祉センターの福田久美子保健師を講師に迎え、南三箇老人会の12人が受講。「老年期うつ病」とは、高齢化に伴い現れた病気の一つで、「心の風邪」とも言われる高齢者のうつ病。体の衰え

飾り付けをして、プチケーキを調理。また、棒状のチョコレイトを2本くつつけて、銀色に輝く粒のアラザンやスプレー・チョコレイトなどでカラフルにデコレーション。親子で参加した女の子は、自分のスイーツの出来栄えに手をたたいて喜び、大切に持ち帰りました。



▲「老年期うつ病」について受講した南三箇老人会

の症状と、眠れない、疲れやすい、食欲がないなどの身体的な症状が出て、衰弱や自殺の引き金になることもありま

す。福田保健師は、「予防するためには、早寝早起きで1日3食、積極的な外出で交流し、趣味を楽しむことなどが大切。気になるときは、いつでもご相談ください」と話しました。

Human Rights

人権 ～心豊かに暮らすために～

全国水平社創立90周年記念 第26回人権啓発研究集会inくまもと

2月2日(木)人権啓発研究集会が、部落差別の撤廃ならびに人権確立社会を構築する上で重要な役割を担う人権啓発の取り組みをさらに充実・発展させることを目的に、熊本県では初めて開催されました。本町からは、地域リーダーと町職員12人が参加しました。

全体講演1として、講師・原田正純医師(前熊本学園大学社会福祉部教授、水俣学センター長)による「水俣病から現代社会を考える」と題した講演がありました。「公害が起こって差別が

起こるのでなく、差別のあるところに公害が起こる。差別とは『人を人と認めない』ことであり、相手の立場に立って見ないこと。この地球には、まだまだ多くの差別が存在する。先進国と途上国、多数民族と少数民族、富者と貧者、都市と農村、健康者と障がい者、男と女など、これらの差別とどう向き合うかが重要である」と話されました。

全体講演2では、医師で作家の鎌田實氏が、「私たちが目指す社会とは～誰もが安心して暮らせる社会をめざして～」と題して講演されました。「差別を生み出してしまう人間社会の中で、

どうしたら差別をなくすことができるか。それには『相手の身になる』ということと、『にもかかわらず』というキーワードが大事」と話されました。また、地域医療の現場で闘う人たちの話、中東を旅して見てきたこと、チェルノブイリと福島で感じたこと、日本の教育現場のいじめの話などを、じっくりと語りかけられた講演でした。

- 人権に関するお問い合わせ先 町教育委員会社会教育課
- ☎096-234-2447(内線323)
✉k1g110@town.kosa.lg.jp